

2016 - 17年度 RI テーマ



人類に
奉仕する
ロータリー

Rotary International
国際ロータリー会長
ジョン F. ジャーム



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

良き出合いを大切に！

第2660地区
八尾東ロータリークラブ
YAO EAST ROTARY CLUB
●創 立：1973年2月23日
●会 長：中澤 剛
●幹 事：高橋 広一
●会報委員長：上山 惣太

今週のプログラム

第2110回例会

- ① 開会 点鐘
- ② ソング 「我等の生業」
- ③ ビジターの紹介
- ④ 会務報告
「会長の時間」「幹事報告」
- ⑤ 委員会報告
「出席報告」「各委員会」「ニコニコ報告」
- ⑥ 卓話 「昆虫の世界」 上田 郁生会員
- ⑦ 閉会 点鐘

来週の予定

第2111回例会 11月4日(金)

松本 進也ガバナー公式訪問

* 同行者：地区幹事(大阪北RC)黒田 勝彦様

* 例会前：松本ガバナーと理事役員による懇談会

★例会後：11月度定例理事会

☆卓話「公式訪問に寄せて」

RI 第2660地区 ガバナー 松本 進也氏

☆11月誕生月祝 鈴木会員、筒井会員

☆11月結婚記念日祝 浦本会員、鈴木会員

*11/4(金) IM第4組会長・幹事会

於：シェラトン都ホテル大阪 3階 「春日の間」

時間：15:00~17:00

中澤会長・高橋幹事 出席予定

前週の例会記録

2016年10月21日(金)

出席報告

例会数	会員数	出席数	出席率	備考
第2109回	29名	13名	56.5%	出席義務免除 7名(出1)
第2107回	29名	22名	95.7%	補 填 3名

ニコニコ箱

●近田様、卓話よろしくお願ひします。

中澤 剛会員

●近田さん、藤木会長、卓話ありがとうございます。

鈴木 洋会員

●藤木様、近田様、御訪問ありがとうございます。

山田 哲男会員

●本日は八尾中央RCの藤木様、近田様、ようこそ

お越し頂きありがとうございます。交換卓話よろしくお願ひ致します。

桑田 タア子会員

●近田様、本日交換卓話楽しみにしています。

浦本 修三会員

●八尾中央RC近田様、交換卓話ご苦労様です。

奥田 長二会員

★例会場：(株)西武百貨店八尾店8階バンケットルーム TEL:072(997)0111 内線5580 ★例会日時：毎週金曜日12時30分

★事務所：〒581-0803 大阪府八尾市光町2丁目60番 西武百貨店内 TEL:072(997)0626 Fax:072(997)2620

★http://www.yaohigashi.org/ E-mail:yaohigashi@japan.email.ne.jp

●**今回合計** 5,000 円

●**累計** 309,010 円

会長の時間

本日は、ロータリーの初期例会について調べてみました。

先日、お伝えした初会合の翌日、ポール・ハリスは、印刷業のハリー・ラグルスに入会を勧め、5人目の会員となりました。

2回目の会合は、ポール・ハリスの事務所で行われ、ハリー・ラグルスに加え不動産業のウィリアム・ジェンセン、オルガン製造業のアル・ホワイトが加わりました。

3回目の会合は、シルヴェスター・シールの事務所で行われ、洗濯業のアーサー・アーウィン、保険業のチャールス・ニュートンが参加しました。

この集会在、議題を出して協議・決定をした最初の会合として、歴史的な意義を持つ会合となったようです。

この会合で、会長を決めるにあたり、最適者と目されていたポール・ハリスが辞退した事により、初代会長は、シルヴェスター・シールとなったようです。これは、ハリスが初代会長の栄誉をシールに譲ったとみられています。

また、3回目の会合で、クラブの名称が検討されたようです。沢山の提案がなされたようですが、中々、出席者全員の賛同を得るものがなかったようです。そのうち、当時の集会（例会）が会員の事務所の持ち回りで行われていた為、Rotation Club という意見が出て、ついに初代会長シルヴェスター・シールの提案により、Rotary Club という名称で全員の賛同を得たようです。

この時、一業種一会員制の推薦会員は、既存会員の反対が一人でもあれば入会できないこと、そして、会員資格は1年間有効で、更新には毎年の入会記念日に全会員の4分の3以上の賛成を得ることが必要

とされたようです。

誕生したてのクラブには支出の必要が無かったので、まずは、会費の徴収は行わなかったとの事ですが、代わりに、会員・家族の誕生日、家族のお祝いごと、会社の創立や事業の成功等、会員の身辺に良いことがあった時に拠金を投入する「ファインボックス」が設けられたようです。これには後に、例会欠席や例会中に宗教・政治の話をした場合の罰金なども加えられたとの事です。日本では、1936年（昭和11年）に大阪クラブで「ニコニコ箱」が採用されて以来、各地のクラブで「スマイルボックス」などとして設置されるようになったようです。

幹事報告

- ①10/27（木）に第90回四輪会ゴルフコンペが開催され、当クラブからは辻田会員、柳会員、山田会員、高橋会員が出席予定です。

卓話

「体罰について」

八尾中央RC

青少年奉仕副委員長

近田 直人様



体罰とは？

今の社会的認識イメージは？

とんでもないひどい行為、反社会的行為、非人道的行為。

ならば“体罰”などの言葉を使わず、“暴力行為”で良いのではないかと？

なぜ“体罰”などの言葉が存在するのか？

本来の体罰とは

肉体的接触、苦痛を伴う、

教育的目的を有し教育的成果をあげる教育の一つの手法。

教育的目的がある以上聖職者として愛情をもつ

ての行為以外何物でもない。

この考えの下、体罰論争が繰り広げられた。

今の日本の現状は体罰とも呼べない暴力行為が体罰と同じ扱っている。

暴力的似非体罰も単なる暴力も体罰としてあつかわれる。

言葉の精査が成されないまま行為の認定が成され体罰の議論も成り立たないのが現状。

本来の体罰議論とは

1 教育的目的と成果をもつ懲罰としての体罰は必要なのではないか？

2 生徒を守るための肉体的接触を伴う指導は体罰の範疇に入らないのではないか？

ちなみに海外では？

アメリカ

50のうち19の州で容認されている。

オーストラリア

一部私立容認 タイムアウト、ランニング

イギリス

伝統的に体罰は容認されてきた。

1986体罰禁止法（公立のみ）

2000私立も禁止

1998家庭内の体罰も禁止（家庭の躰としての体罰は容認されてきた）

2001規律を守らない子供の増加により体罰復活の訴えが起こる。教師や保護者

2006教師の懲戒としての体罰を認める。*お尻を叩くのは6回まで

日本

懲戒としての体罰は法律で禁止されている。（学校教育法）

なぜこのような現状に

根本的に無責任な教師や評論家によるイデオロギーによる体罰批判が根本的にあった。

また、一方では無責任な体罰至上主義者による暴力的似非体罰行為も大きな問題として存在した。

桜ノ宮体罰事件が大きなきっかけとなり体罰批判に大きく舵が取られ同時に体罰の精査がなくなった。教育員会はマスコミや世間の批判を逃れるために本来の議論を封印した、

認定が難しいがゆえ肉体的接触が有れば全て体罰と判断した。

委員会や俗に言う有識者には精査能力がないのである。

（クラブ指導における体罰問題だけがクローズアップされ生徒指導上の問題にかかわる体罰問題に目が向けられず、桑田氏などのマスコミの報道に流されたことを見てもいかに体罰に関する言葉の精査がマスコミ、委員会に成されてなかったかが露見している）

本来必要な愛の鞭、正義の鉄拳、または本来体罰の範疇に入らないような生徒指導上の身体接触や正当防衛や、他者を守るための最低限度の身体接触をすべて暴力的な体罰と同じと認定する方針をとってしまった。

体罰の本来の意味がアバウトとなりその行為の認定範囲が広がり処分の内容も厳しくなり益々社会的批判も強くなった。

有能で情熱がありわが身を顧みず子どもたちのために行動する教師を駆逐した。

結果、

校内の規律秩序の乱れ、増長した青少年の増加し、校内暴力は全国1位、規律や秩序を守るための抑止力は低下した。また、生徒指導上問題のある生徒の切り捨て、暴力行為やいじめに対しては警察介入をマニュアル化した。

実際校内での暴力事案にたいして警察介入による逮捕者が新聞紙上を騒がす現状となった。

生徒を被害者、加害者、犯罪者にしないことよりも自分たちが批判を受け処分を受けない道を選択したのだ。

現状のルールや認識では教え子を加害者＝犯罪者にし、被害者も救えない。

教え子を犯罪の被害者や加害者にしてまで守らな

ければならないコンプライアンスなど意味がない。
正しい体罰に関する社会的認識の再構築がもとめられる。

「米山梅吉記念館見学と山中湖巡りの旅」

桑田 タア子会員

10月15～16日

1泊2日でメンバー6名と弥次喜多珍道中よろしく旅に出かけました。

途中 JR 三島駅より「米山梅吉記念館」を訪れ、米山梅吉翁の足跡を辿って来ました。

日本のロータリー創始者翁の遺徳を偲び、昭和44年財団法人米山梅吉記念館として発足し、翁、没後50年忌を記念して新館設立には全国のロータリークラブの賛同により多額の拠金が寄せられ、更に個人の特別寄付等の大口拠金に依り、平成10年4月に新館が完成されました。全国のロータリアンの賛助、寄付等の奉仕によって運営されています。10月米山月間にちなみ記念館を訪問してきました。詳しくは10月号米山梅吉この一冊をお読み下さい。

記念館を後に一路 山中湖に出発

ホテルの窓からみる富士山は、紅葉には一寸早く、雲の流れに次々と変貌して行く雄大な富士の姿に感動しカメラのシャッターを押し続けました。

翌日は ジャンボタクシーで富士山五合目より下山、樹海の中の散歩、風氷洞窟等見学し、真赤な実つけたナナカマドの山を楽しみながら帰途につきました。

アクシデント、ハプニングありの楽しい旅でした。



第2660地区
八尾東ロータリークラブ
YAO EAST ROTARY